

教育臨床心理実践センターだより

教育臨床心理実践センター発行
2017年3月 第17号

教育臨床心理実践センター主催 公開講演会

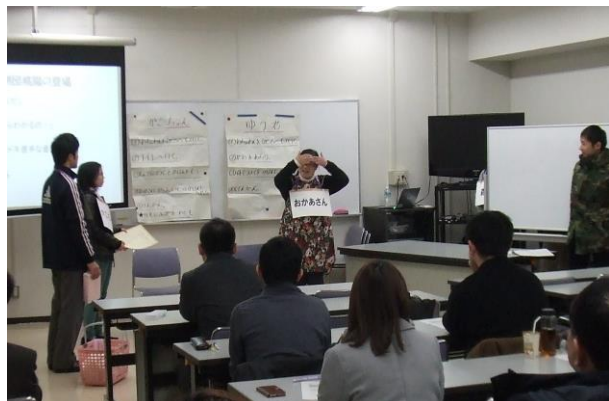
「桃陽総合支援学校の取り組み

～医療と両輪になって取り組む教育～」報告

1月31日(火)15時～17時、附属教育実践センター機構棟1階・教育臨床心理実践センター教育臨床実習室において、中東朋子先生(京都市立桃陽総合支援学校長)をお迎えし、桃陽総合支援学校の役割や実践についての理解を深めました。

桃陽総合支援学校は慢性疾患等で入院等の療養を要する児童生徒のために小・中学校に準じた教育を行う支援学校で、京都市桃陽病院に隣接する本校、4つの分教室(国立病院機構京都医療センター・京都大学医学部附属病院・京都府立医科大学附属病院・京都第二赤十字病院)、訪問教育(分教室のない市南東部の病院)の三本柱で運営されているとのことでした。

本校の児童・生徒の多くは心身症・摂食障害・不安障害・強迫性障害を抱え、約8割が不登校経験を持つなど、発達障害を背景に持つ子どもも多いとのこと。分室校では新生物・腎臓疾患などの難病と闘う子どもや、他府県からの子どももあり支援のニーズが多岐にわたっていることを学びました。



(「劇団桃陽」の先生方と講演会参加者のみなさんの様子)



(桃陽総合支援学校 中東朋子先生)

次に、児童・生徒の生活体験の不足、学習活動における制約等の多様な課題の解決に向け、本校、分教室、病室、前籍校を結ぶICT環境を生かした協働的な学びの展開が行われていることについてお話しいただきました。学ぶ意欲や学力の向上につながる指導研究方法・デジタル教材開発など、新たな「学びの創造」を図る実証研究が行われ、病室の児童が、本校のリモート顕微鏡のピントを合わせ、詳細な観察日誌を綴っている姿など、数々の実践の様子が紹介されました。

最後に「劇団桃陽」の先生方の熱演から、発達障害を抱える児童・生徒の理解、合理的配慮へのヒントをいただきました。

先生からのお話、劇が終わった後には、保護者や医療、前籍校との連携、心理職との関わりなどの多岐に渡る質問にも丁寧にお答えいただき、大変実り多い講演会となりました。

学校スクールカウンセラーから - 附属桃山中学校・附属高校 -



附属桃山中学校・附属高校のスクールカウンセリングは6年目を迎え、中学1年生でかわり始めたご家庭のお子さんが高校卒業の年となります。困難を乗り越え生き生きと活躍する子どもたちの様子に触れると本当に感慨深く、滞りは必要なものだったかのように思えます。

附属高校では月に1回、年間12回の勤務でささやかな応援をしているに過ぎません。保健室や担任の先生のお力を頼りに、子どもに自己力コントロールをつけてもらうには何が必要かを追求し臨床を続けています。

附属桃山中学校では毎年のように教職員の夏季研修に講師としてお招きいただき、発達の偏り、愛着障がいとトラウマ、ストレスと身体症状などの理解を共に深め、生徒や保護者に寄り添える器づくりができつつあります。さらに、いじめ対策にも活用されSCが学校と一体となって活動できるようになってきました。

子どもの不適応をきっかけに、学校や家庭は、その子に応じたかわりを模索します。器である学校と家庭にSCがうまく介入できたとき、子どもになじむ環境が整います。環境が整うと子どもたちは回復し本来の持ち味を発揮します。SCは子どもたちが学校というリソースの宝庫を再び活用できるよう、応急処置やメンテナンスを行う立ち位置にいると思います。限られた相談時間を最大限に活用し、抱え過ぎず、生徒さんを学校（社会）に返していくことがわたしの役目と感じるようになりました。（岩瀬佳代子）

心理教育相談室について

平成27年度・28年度(1月まで) 相談件数報告



<相談件数>

	27年度	28年度(1月まで)
相談件数	106	75
延べ相談件数	752	732

<27年度 相談内容>

	不登校	いじめ	非行 しつけ	学業 不振	進路 適性	発達の 遅れ	対人 関係	行動 性格 情緒	その他	計
相談件数	24	1	1	5	6	4	21	31	3	106
延べ相談件数	110	31	16	48	44	26	155	237	85	752

個人・家族・学校などの悩みや困った問題について心理的援助を行っています。まずは電話にて、お気軽にご連絡ください。

075-644-8824（月曜～金曜、午前10時～午後4時）

教育臨床心理実践センター・スタッフ



専任教員（センター長）教授 本間友巳 非常勤カウンセラー 岩井秀世（月曜）
兼任教員 教授 森孝宏 教授 内田利広 教授 小松貴弘 准教授 西村佐彩子
相談補佐員 荒井久美子（月・火曜） 金子真理子（水曜） 西山智栄子（木曜） 馬場貴美代（金曜）